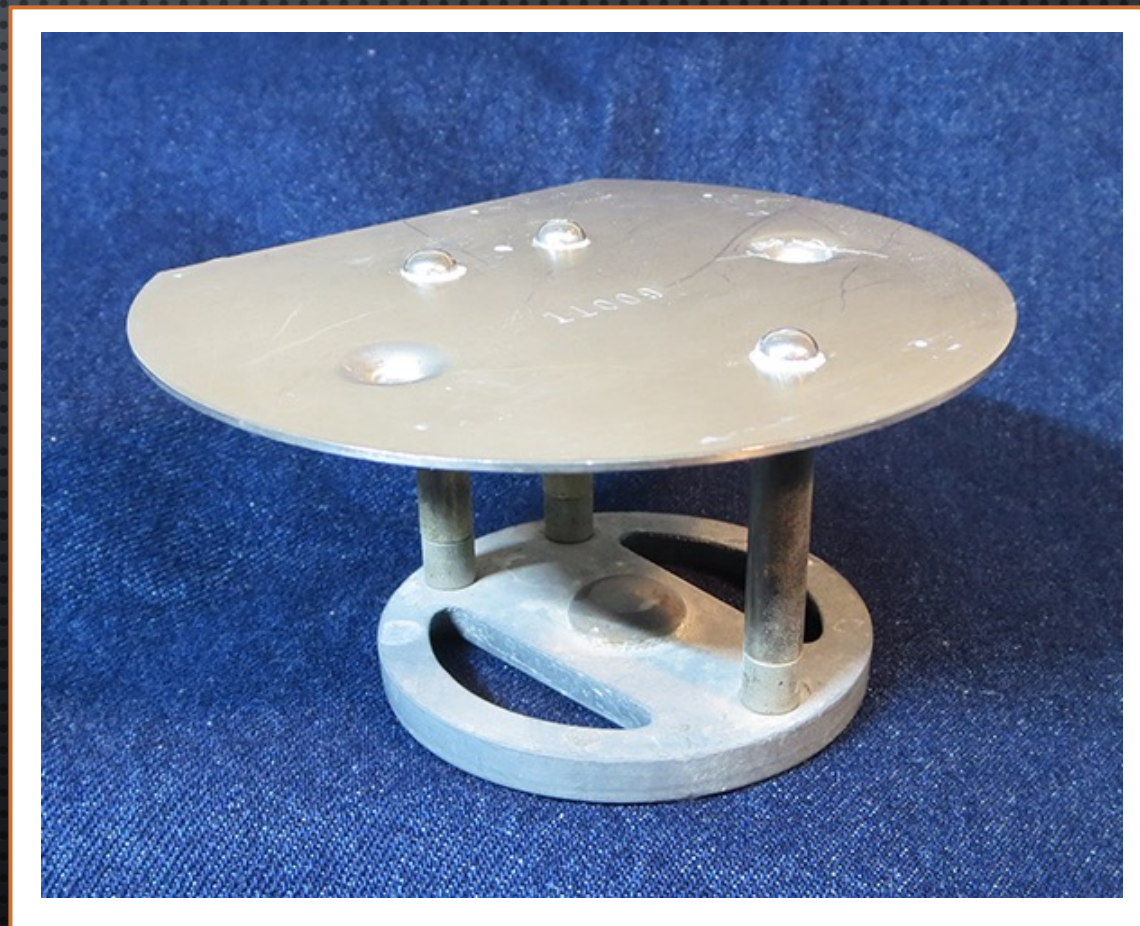


## リマウンティング・ジグの使用方法

もくじ

1. リマウンティング・ジグとは
  2. 重合後の義歯と模型
  3. 重合義歯人工歯咬合面の記録
  4. 義歯咬合面の記録模型
  5. 義歯のトリミングと研磨
  6. マウント用模型の作製
  7. 上顎義歯の咬合器装着
  8. 義歯装着に準備する機材
  9. 中心位と下顎前方位の咬合採得
  10. 重合義歯のリマウント
  11. 矢状顎路角の計測
  12. 咬合調整
  13. 義歯の装着と管理の説明
- 引用文献



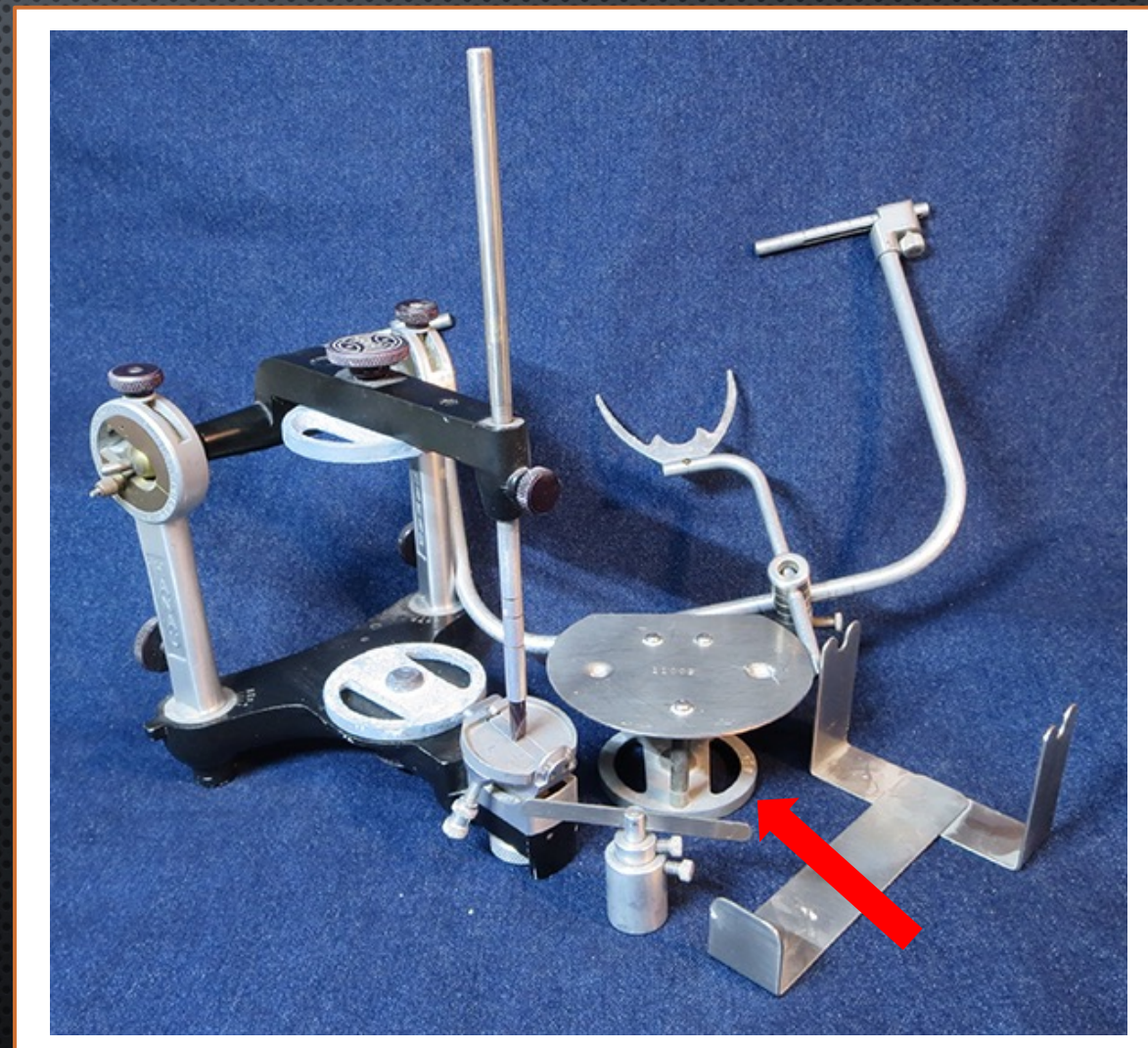


# リマウンティング・ジグの使用方法

## 1. リマウンティング・ジグとは

リマウンティング・ジグは、咬合器に付属する部品の一つです。リマウンティングジグは、そのテーブル上に石膏を盛り、その石膏に義歯人工歯の咬合面を印記し、石膏模型から取り出した義歯を咬合器上の所定の位置にマウントするために使用します。

その使用方法について解説します。

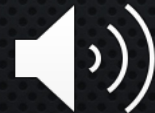




# リマウンティング・ジグの使用方法

## 2. 重合後の義歯と模型

右写真が示すように、重合後の上顎義歯は、作業模型が付いた状態にて取り出します。





## リマウンティング・ジグの使用方法

### 3. 重合義歯人工歯咬合面の記録

重合した義歯と模型は、咬合器に戻されます。  
練った石膏は、リマウンティング・ジグのテーブル上に盛り付けられます。右写真が示すように、重合した義歯の人工歯咬合面は、硬化する前の石膏上に静かに乗せられます。その結果、人工歯の咬合面が石膏上に印記されます。





# リマウンティング・ジグの使用方法

## 4. 義歯咬合面の記録模型

右写真は、リマウンティング・ジグのテーブルから外した咬合面記録模型です。カルテ番号と採得日は、石膏の表面に記載されます。その結果、その上顎義歯は、いつでも咬合器へマウントすることができます。

右下の写真は、咬合面記録模型の裏面です。使用したリマウンティング・ジグの機種番号が印記されます。

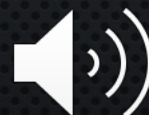




# リマウンティング・ジグの使用方法

## 5. 義歯のトリミングと研磨

通常通り、重合後の義歯は、石膏模型から取り出し、トリミングと研磨を施します。





## リマウンティング・ジグの使用方法

### 6. マウント用模型の作製

重合後の義歯のアンダーカット部は、濡らした紙を詰めてブロックアウトします。義歯は、ユーティティーワックスによりボクシングを施し、粘膜面に石膏を注入します。

右下写真に示すように、マウント用の模型が作製されます。





# リマウンティング・ジグの使用方法

## 7. 上顎義歯の咬合器装着

右写真が示すように、その上顎の義歯は、リマウンティング・ジグの咬合記録模型上に乗せ、咬合器の所定の位置にマウントします。





## リマウンティング・ジグの使用方法

### 8. 義歯装着に準備する機材

右写真は、義歯装着に際して準備しておく機材です。  
完成義歯装着日の行程は、次の通りです。

- ・中心位と下顎前方位の咬合採得
- ・下顎義歯の咬合器マウント
- ・矢状顎路角の計測
- ・選択削合
- ・自動削合
- ・義歯の装着および管理の説明

義歯装着日の処置は多岐にわたります。そのため、患者さんは長時間待たされることになります。患者さんの待機時間を少なくするため、歯科医師の準備はとても大切です。

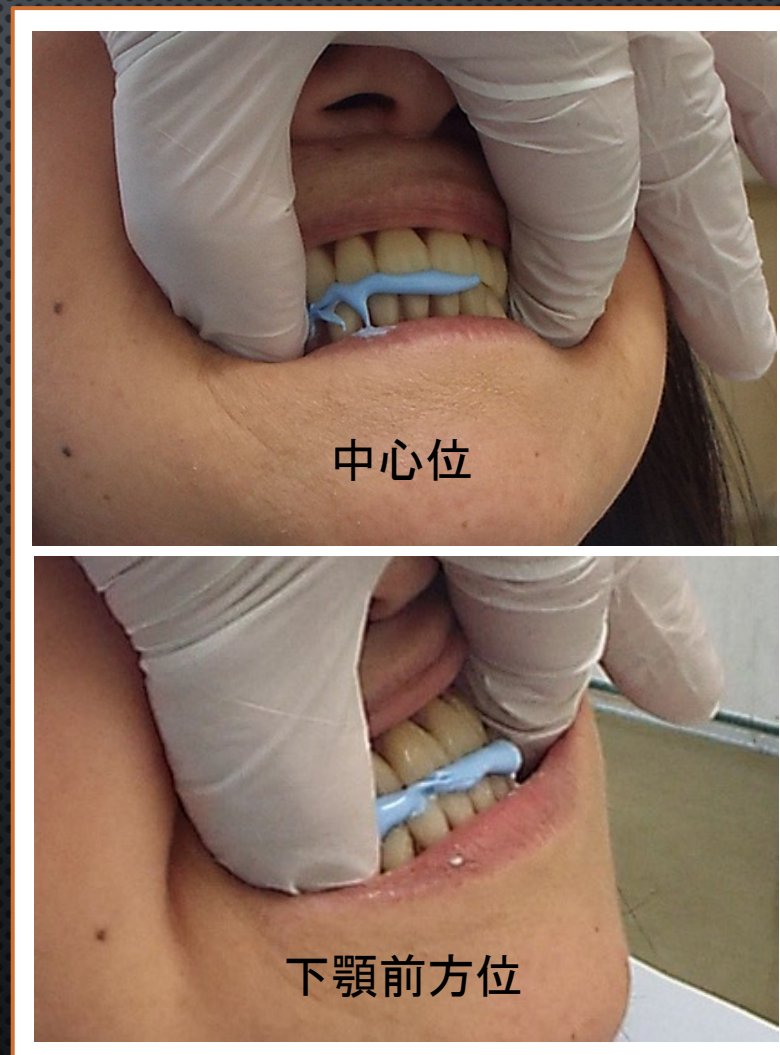




# リマウンティング・ジグの使用方法

## 9. 中心位と下顎前方位の咬合採得

トリミングと研磨を終えた重合後の義歯を使用して、  
中心位と下顎前方位の咬合採得が行われます。





# リマウンティング・ジグの使用方法

## 10. 重合義歯のリマウント

中心位の咬合記録を使用して、下顎の義歯を咬合器にリマウントします。

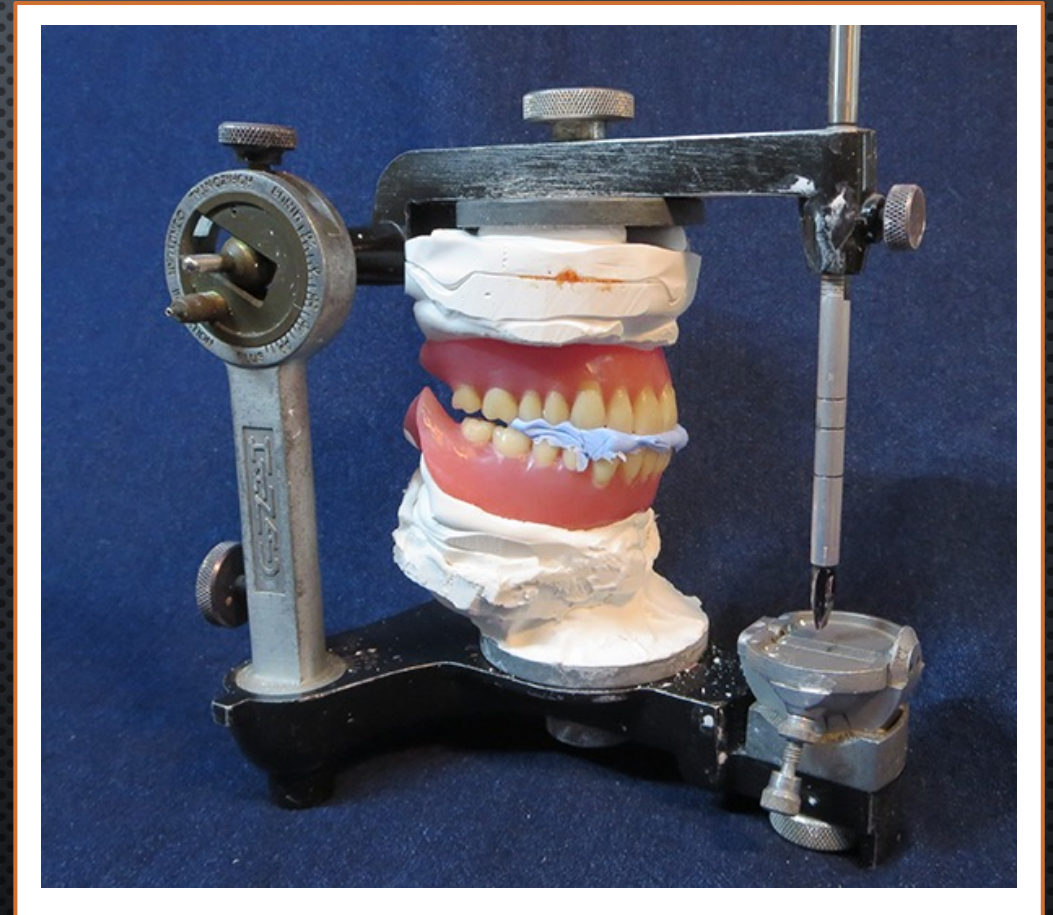




# リマウンティング・ジグの使用方法

## 11. 矢状顎路角の計測

下顎前方位の咬合記録を使用して、  
矢状顎路角を計測します。





# リマウンティング・ジグの使用法

## 12. 咬合調整

総義歯は、弾力性のある粘膜により支えられているため、口腔内にて精密な咬合調整を行うことはできません。そのため、総義歯の咬合調整は、次に示す3つの段階のいずれかにて、咬合器上で行われます。

- ・ワックスデンチャーの段階
- ・重合後、模型から外す前の段階
- ・リマウントジグを使用してトリミングと研磨後の段階

それらのうち義歯装着直前に行う咬合調整がもっとも誤差の少ない義歯を患者さんに提供できます。

咬合調整は、選択削合と自動削合により行われます。このとき、仮床義歯による咬合採得の誤差あるいは重合収縮などによる誤差がいかに大きいかを知ることがあります。





## 13. 義歯の装着と管理の説明

リマウンティング・ジグの使用により、複雑な行程が追加されます。しかし、歯科医師は、リマウンティング・ジグの使用により、高い精度の総義歯を患者さんに提供できます。







# リマウンティング・ジグの使用法

## 引用文献

- 1) Boucher, C.O., Hickey, J.C. and Zarb, G.A. :Prosthodontic treatment for edentulous patients 7th ed., 107~157, C. V. Mosby Company, Saint Louis, 1975.
- 2) 外川正:無歯顎顎堤模型の解剖学的ランドマーク間の計測, 日本補綴歯科学会雑誌 51巻3号 469-479, 1993.
- 3) 外川 正:改良型日本人用試作無歯顎用トレーの評価, 平成16年度日本補綴歯科学会 東北・北海道支部総会ならびに学術大会:15, 2004.
- 4) 外川 正:無歯顎顎堤計測値の統計分析に基づく無歯顎用試作トレーの評価, 日本補綴歯科学会雑誌 51巻116回特別号平成19年5月 国際補綴歯科学会神戸2007:131, 2007.

今回の記事を気に入っていただければ👍をクリックしてください。  
質問あるいは疑問がある方は、下の公開コメント欄にお書き下さい。  
よろしければチャンネル登録をお願いいたします。

## その他の著書

